特定小電力タイプ
リモコンスイッチ
【AN426TⅡ＋RC－426R】

取扱説明書

V1．20

目次

第1章. お使いになる前に......1
　1－1. はじめに......1
　1－2. 付属品......1
　1－3. 安全上のご注意（必ずお読み下さい）......2
　1－4. 概要......6
　1－5. 特徴......6
　1－6. 仕様......8
　　1－6－1. 送信機......8
　　1－6－2. 受信機......8
　1－7. 各部の名称と説明......9
　　1－7－1. 送信機......9
　　1－7－2. 受信機......9
　1－8. 寸法図......11
　　1－8－1. 送信機......11
　　1－8－2. 受信機......11
　1－9. スイッチパネル（通信チャネル、識別番号、動作タイプ設定用スイッチ）......12
　　1－9－1. ロータリースイッチ（通信チャネルの設定）......12
　　1－9－2. 8連ディップスイッチ（識別番号の設定）......13
　　1－9－3. 8連ディップスイッチ（動作タイプの設定）......14
　1－10. 設置方法......15
　　1－10－1. 設置時の注意事項......15
　　1－10－2. 送信機......15
　　1－10－3. 受信機......15
第2章. 動作説明......17
　2－1. 送信機......17
　2－2. 受信機......17
　　2－2－1. 2スイッチ信号受信タイプ......17
　　2－2－2. 3スイッチ信号受信タイプ......18
第3章. 取扱上の注意......19
　3－1. 故障と思う前に......19
　3－2. おかしいな？と思ったら......19
　3－3. 保証......20

第1章. お使いになる前に

１－１. はじめに

この取扱説明書には、本製品の概要, 設置及び操作など、本製品をお使いいただく上で必要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前によくお読み下さい。また、いつでもご利用頂けますよう大切に保管して下さい。

１－２. 付属品

■ＡＮ４２６ＴⅡ

・ＡＣアダプター　５Ｖ用　［ＡＤＡ０５０４０］　１個

■ＲＣ－４２６Ｒ

・アンテナ　ＴＫ１５７９　１本

＜オプション＞

・ＡＣアダプター　７．５Ｖ用　［ＡＤＡ０７０３０］

１－３. 安全上のご注意（必ずお読み下さい）

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。

警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

注意

■本機の取り扱いについて

●本機は、精密部品で作られた無線通信機器です。分解・改造はしないで下さい。事故や故障の原因となります。

■使用環境及び保管環境について

●下記の場所での使用及び保管は故障や誤動作、特性劣化、火災・感電の原因となることがありますので避けて下さい。

・直射日光のあたる場所での使用及び保管
・製品内に液体や異物、腐食性ガスか可燃性ガスが入る可能性のある場所での使用及び保管
・湿気の高い所や油煙、ほこり、砂などの多い場所での使用及び保管
・ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所での使用

警告

■　本機の取り扱いについて

●人命にかかわるような極めて高い信頼性を要求される用途には、ご使用にならないで下さい。	禁止
●電波が届くか届かない曖昧な範囲ではご使用にならないで下さい。	禁止

■電源の取り扱いについて

ACアダプタ・電源コードの発熱、破損、発火などの事故防止のため、次のこと は必ずお守り下さい。

●ACアダプタ・電源コードを火に近づけたり、火の中に入れないで下さい。ACアダプタ・電源コードが破裂・発火して事故の原因になります。	禁止
●ACアダプタ・本体は、破損・発火事故防止のため、指定された電源電圧以外では使用しないで下さい。	禁止
●濡れやすい場所で、ACアダプタ・本体を使用しないで下さい。発熱・発火・感電などの事故や故障の原因となります。	禁止
●濡れた手でACアダプタ・本体・電源コード・コンセントに触れないで下さい。感電などの事故の原因となります。	禁止
●電源コードを破損させないで下さい。ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。	禁止
●電源プラグにほこりが付着したままで使用しないで下さい。ショートや発熱により火災や感電の原因になります。	禁止
●ACアダプタに強い衝撃を与えないで下さい。 事故や故障の原因になることがあります。	禁止
●ACアダプタの変形などに気づいたら、使用しないで下さい。 事故や故障の原因になることがあります。	禁止
●引火性ガスが発生する場所では、本体を充電しないで下さい。 発火事故などの原因になります。	禁止
●絶対にACアダプタを分解しないで下さい。 事故や故障の原因になることがあります。	禁止

■使用中に異常が発生したときは

火災・感電等の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜いて販売店　又は弊社に修理を依頼して下さい。

●煙が出たり、変なにおいがするときは使用を中止し、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社に修理を依頼して下さい。	注意喚起
●電源コードや電源スイッチが傷んだら使用しないで下さい。 そのまま使用すると火災や感電の原因になります。	禁止

■無線通信の信頼性について

無線通信は有線通信と異なる性質があり、下記要因により通信エラーを発生することがあります。

- ・通信距離を越えてしまっている。
- ・デッドポイントに入ってしまっている。
- ・強い妨害電波がある。

頻繁に妨害される場合、また、妨害されることが運用上問題である場合は、使用を中止し妨害の原因を排除してからご使用下さい。

また、上記要因以外にも電波を受信できない状況が発生することがありますので、予めご理解の上、御使用下さい。

※デッドポイントとは、送信機から発信された電波が壁などで反射された電波に影響され電波が極端に弱くなる範囲のことです。

本装置の送信機は、「特定小電力無線局テレメータ用及びテレコントロール用無線設備」として技術基準適合証明を受けております。

テレメータ用及びテレコントロール用無線設備について

<テレメータ用無線設備>

電波を利用して遠隔地点における測定器の測定結果を自動的に表示し、又は記録することを目的とする信号の伝送を行う無線設備。

<テレコントロール用無線設備>

電波を利用して遠隔地点における装置の機能を始動、変更又は終止させることを目的とする信号の伝送を行う無線設備。

1. 人命や他の機器・装置に被害及び損傷を与える恐れのある用途では使用しないで下さい。
   また、送信機からの電波により、誤動作する可能性のある装置の近くでは使用しないで下さい。
2. 技術基準適合証明を受けている装置を分解したり、改造することは法律で禁止されています。
3. 送信機のケースに貼ってある技術基準適合証明ラベルをはがさないで下さい。はがした状態で使用することは、法律で禁止されています。
4. 本装置は、日本国内専用です。
   電波法は日本国内においてのみ有効です。国外で使用する場合は、使用国の法律に違反していないかご確認の上、ご利用下さい。また、本装置を電気通信回線に接続して使用することはできません。
5. 通信性能は周囲の環境によって変化しますので、設置前に通信が可能であることを確認のうえ、ご使用下さい。

１－４．概要

本装置は、スイッチ信号を送信する送信機（AN426TⅡ）１台と受信したスイッチ信号に応じて端子台へ出力する受信機（RC－426R）１台から構成されています。

送信機のキー入力（または、入力端子への入力）操作により、離れた場所にある受信機のリレー出力端子が動作（ON／OFF）します。
この動作によって受信機の出力端子に接続されている機器を制御できます。

※AN426TⅡをご利用の場合は、送信モードを"AN426Tモード（旧モード）"に設定して使用します。
③ボタン及び端子入力は無効となります。

注意）　取扱説明書の構成上の注意
本説明書は、本装置全体の取扱方法と主に受信機の取扱方法を記載しております。
送信機の取扱方法については、「特定小電力タイプ　1mW送信機 AN426TⅡ」の取扱説明書をお読み下さい。

１－５．特徴

① 送信機は、「特定小電力無線局テレメータ用及びテレコントロール用無線設備」として技術基準適合証明を受けているため免許不要です。

② 送信機には、STOP、CLR、CALLの３点の入力キーとSTOP、CLR、CALLの３点の無電圧接点入力端子があります。
送信機は、これらの入力状態に応じたスイッチ信号を送信します。

③ 送信機の電源として付属のACアダプタの他に、単三型乾電池（２本）での使用も可能なため、携帯して使用できます。
また、送信機には電圧検出機能（BAランプ）があり乾電池の消耗も一目で確認でき、安心してご使用いただけます。

④ 受信機には、３点のリレー出力端子（OUT1～OUT3）があります。受信したスイッチ信号により各出力端子をON／OFFします。

⑤ 受信機の動作タイプには、STOP、CLRの２点のスイッチ信号を受信し出力する動作とSTOP、CLR、CALLの３点のスイッチ信号を受信し出力する動作の２種類がありディップスイッチで変更できます。

⑥ 通信チャネルを1ch～10chまでロータリースイッチで設定できます。

⑦ 装置の識別番号（ユニット番号（'1'～'8'）、機器番号（'1'～'8'））を設定できます。

注1） 送信機と受信機の通信チャネルは、出荷時に設定されています。
通常は、変更の必要はありません。
変更する場合は、送信機と受信機の通信チャネルを同一にして下さい。
送信機と表示機の通信チャネルが異なると通信できません。

注2） 送信機と受信機の識別番号（ユニット番号、機器番号）は、出荷時
に設定されています。通常は、変更の必要はありません。
変更する場合は、送信機と受信機側で同じ識別番号にして下さい。
識別番号が異なると通信できません。
受信機側の設定は、ディップスイッチで行います。
送信機側の設定は、弊社にご連絡下さい。

1－6. 仕様

1－6－1. 送信機

詳細については、「特定小電力タイプ　1mW送信機　HERCOM　AN426TⅡ」の取扱説明書をお読み下さい。

1－6－2. 受信機

① 無線部

項目	仕様
通信周波数	426. 0250MHz～426. 1375MHz （12. 5kHzステップ　10波）
電波形式	F1D
アンテナ	λ／4　ホイップアンテナ
変調方式	直接2値FSK
変調速度	977bps
通信	受信専用

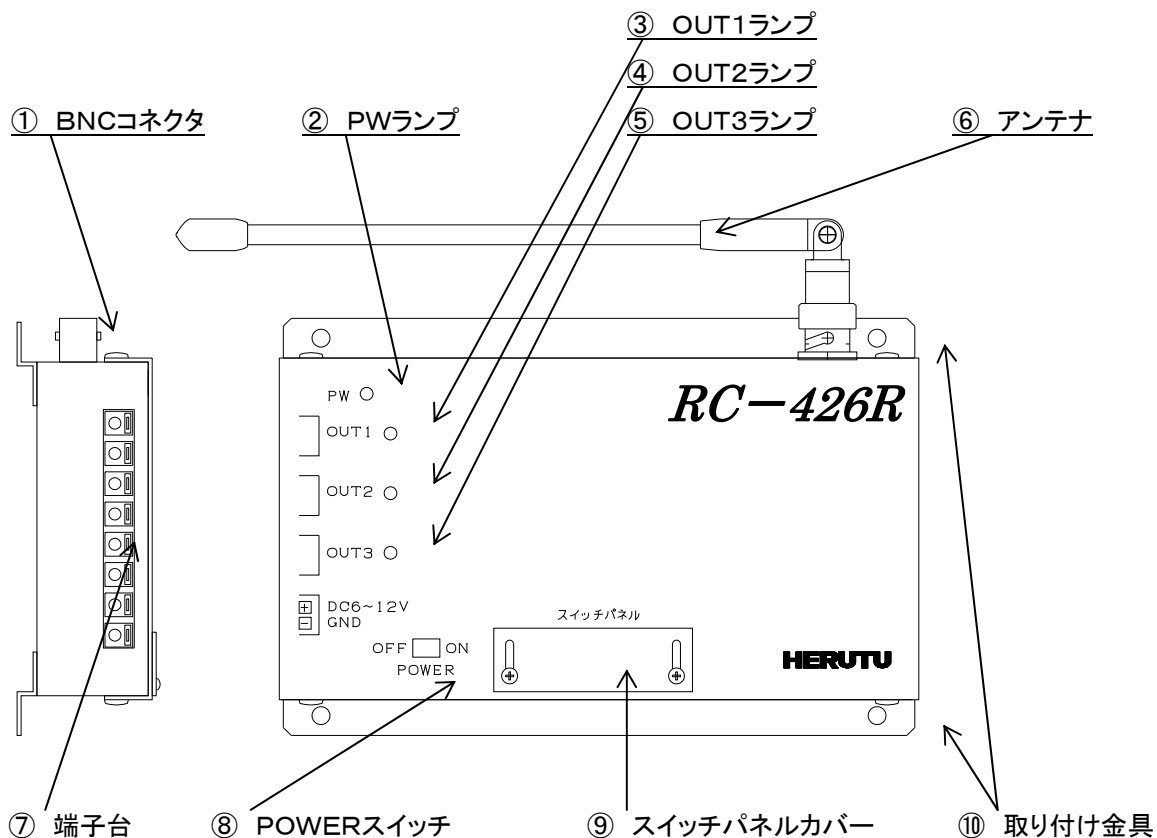
② 一般部

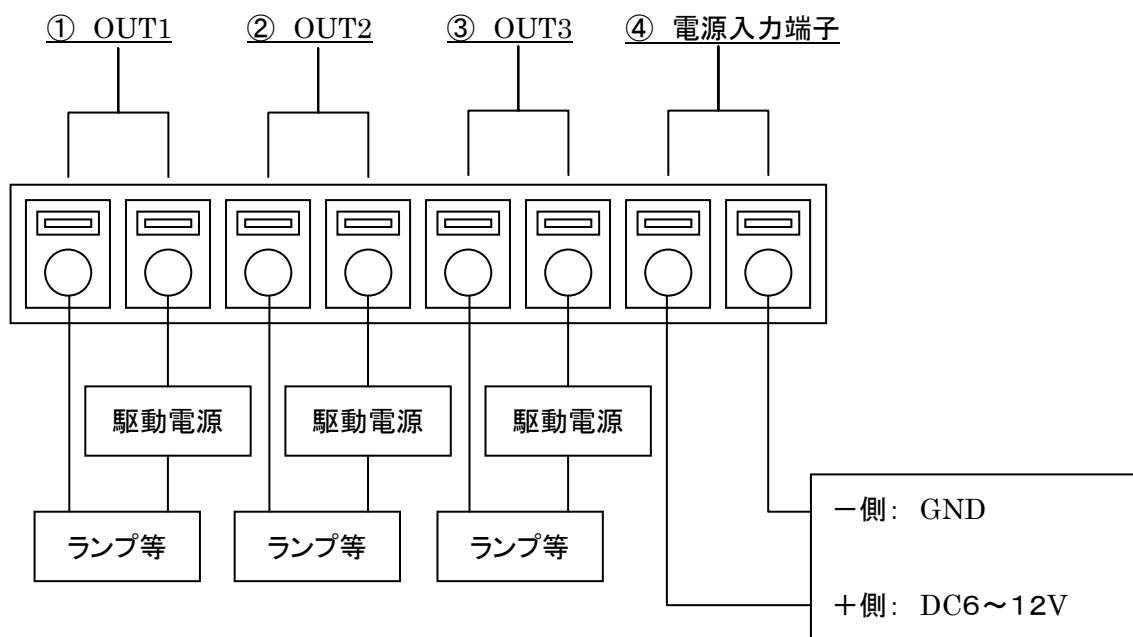
項目	内容	備考
表示素子	赤色LED　×4	リレー出力時点灯（3） 電源投入時点灯（1）
出力端子	OUT1　×1 OUT2　×1 OUT3　×1	リレー出力 定格負荷： AC125V　0. 5A DC24V　1A
電源	DC6～12V	DC6～12V端子とGNDから供給します。
消費電流	最大　約160mA（DC9V） 待機時　約　62mA（DC9V）	
外形	約161W×86H×29Dmm	突起物は除く
重量	約500g	アンテナは除く
使用環境	温度：0～50℃ 湿度：65±20%	結露無き事
付属品	λ／4　ホイップアンテナ　×　1	

1－7. 各部の名称と説明

1－7－1. 送信機

詳細については、「特定小電力タイプ　1mW送信機　HERCOM　AN426TⅡ」の取扱説明書をお読み下さい。

1－7－2. 受信機

項番	名称	機能／内容
①	BNCコネクタ	付属のλ／4　ホイップアンテナを接続します。
②	PWランプ	電源投入時に点灯する赤色のパイロットランプです。 （受信PLLロックと兼用です。）
③ ④ ⑤	OUT1ランプ OUT2ランプ OUT3ランプ	リレー出力時に点灯する赤色のランプです。
⑥	アンテナ	付属のλ／4　ホイップアンテナです。
⑦	端子台	次項参照
⑧	POWERスイッチ	電源投入用のスイッチです。
⑨	スイッチパネルカバー	ロータリースイッチ（通信チャネル設定用）及び 8連ディップスイッチ（識別番号、動作タイプ設定用） を保護する為のカバーです。 カバーをずらして各種スイッチの設定をします。
⑩	取り付け金具	受信機本体を固定する場合にご使用下さい。

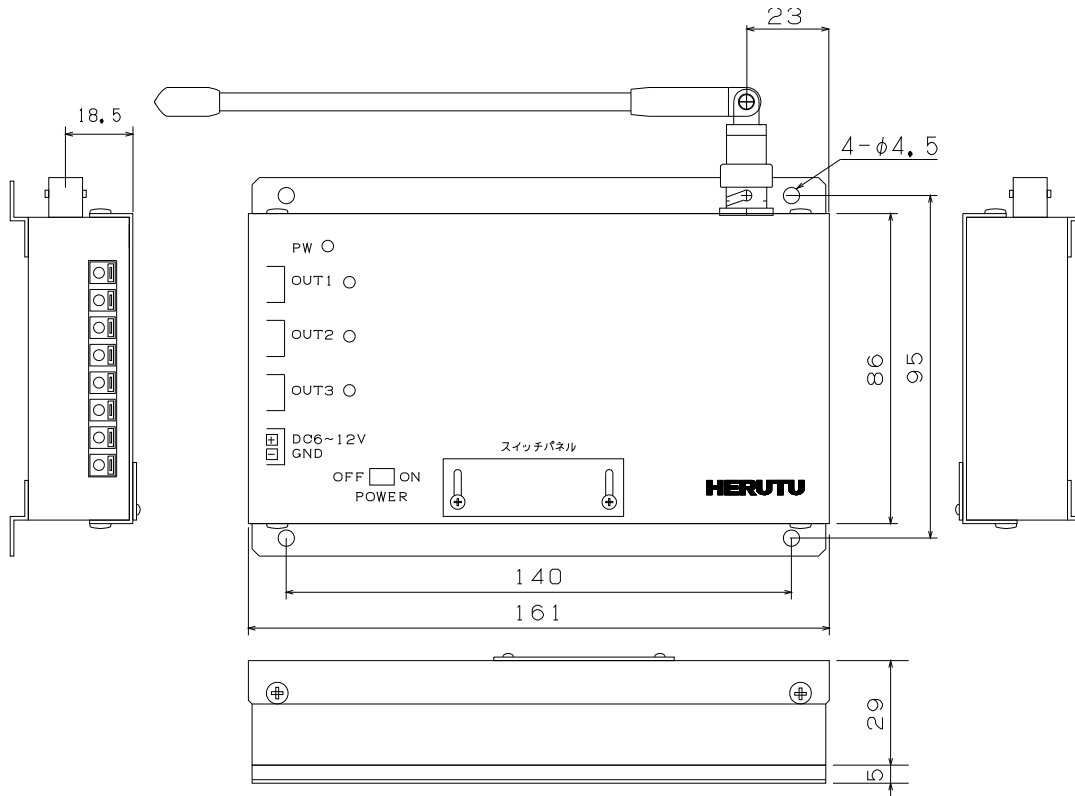
端子台の機能と名称及び接続例を示します。

項番	名称	機能／内容
①	OUT1	リレー出力端子です。 ランプ等の被制御装置を接続します。 定格負荷は、AC125V 0．5A、DC24V 1Aです。 送信機から送られてくるスイッチ信号に応じてリレー出力します。
②	OUT2	
③	OUT3	
④	電源入力端子	DC6～12V：（＋側）電源入力端子です。 GND ：（－側）電源のグランドです。 電源電圧は、DC6～12Vです。

注意） 各端子への接続は、安全の為に電源を切ってから実施して下さい。

１－８．寸法図

１－８－１．送信機

詳細については、「特定小電力タイプ　１mW送信機　HERCOM　AN426TⅡ」の取扱説明書をお読み下さい。

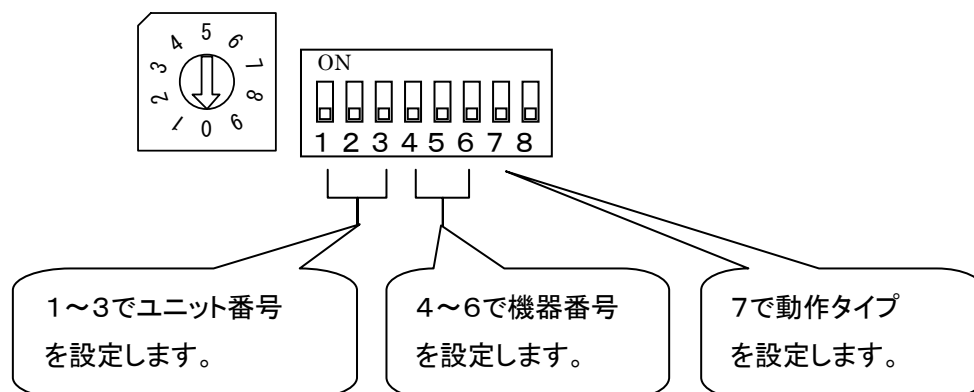
１－８－２．受信機

１－９．スイッチパネル（通信チャネル、識別番号、動作タイプ設定用スイッチ）

本体のスイッチパネルカバーのビスを緩めて下にずらすとロータリースイッチと8連ディップスイッチがあります。これらのスイッチには次の機能があります。

① ロータリースイッチ

通信チャネル（１～１０ch）を設定します。

② ８連ディップスイッチ

１～６番で識別番号（ユニット番号、機器番号）を設定します。７番で動作タイプを設定します。８番は常にOFFでご使用下さい。

１－９－１．ロータリースイッチ（通信チャネルの設定）

ロータリースイッチで通信チャネルを1ch～１０chまで設定できます。

チャネル番号とロータリースイッチ設定値との関係を次表に示します。

チャネル番号	通信周波数（MHz）	ロータリースイッチ 設定値
1	426．0250	1
2	426．0375	2
3	426．0500	3
4	426．0625	4
5	426．0750	5
6	426．0875	6
7	426．1000	7
8	426．1125	8
9	426．1250	9
10	426．1375	0

注1） 送信機と受信機の通信チャネルは、出荷時に設定されています。
通常は、変更の必要はありません。
変更する場合は、送信機と受信機の通信チャネルを同一にして下さい。
送信機と受信機の通信チャネルが異なると通信できません。
注2） 変更時は、安全の為に電源を切ってから実施して下さい。
（変更を有効にするには、電源を再投入する必要があります。）

1－9－2. 8連ディップスイッチ（識別番号の設定）

識別番号は、ユニット番号（‘1’～‘8’）と機器番号（‘1’～‘8’）から構成されています。

ユニット番号の設定は、8連ディップスイッチの1番～3番で行います。
機器番号の設定は、8連ディップスイッチの4番～6番で行います。

識別番号と8連ディップスイッチ（1番～6番）設定値との関係を次表に示します。

ユニット番号の設定	
ユニット番号	ﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁ 123
1	000
2	100
3	010
4	110
5	001
6	101
7	011
8	111

機器番号の設定	
機器番号	ﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁ 456
1	000
2	100
3	010
4	110
5	001
6	101
7	011
8	111

注意） ディップスイッチの欄は、
ユニット番号設定では、左から1番、2番、3番スイッチに、
機器番号設定では、　左から4番、5番、6番スイッチに
対応しています。

また、‘1’がON、‘0’がOFFを表します。

注1）　送信機と表示機の識別番号（ユニット番号、機器番号）は、出荷時
　　　に設定されています。
　　　通常は、変更の必要はありません。

　　　変更する場合は、送信機と受信機側で同じ識別番号にして下さい。
　　　識別番号が異なると通信できません。

注2）　変更時は、安全の為に電源を切ってから実施して下さい。
　　（変更を有効にするには、電源を再投入する必要があります。）

１－９－３．８連ディップスイッチ（動作タイプの設定）

受信機の動作には、

①　2スイッチ信号受信タイプ

送信機からのSTOP、CLRスイッチ信号を受信し対応する

リレー出力OUT1～3を制御

②　3スイッチ信号受信タイプ

送信機からのSTOP、CLR、CALLスイッチ信号を受信し対応する

リレー出力OUT1～3を制御

の2種類があります。（詳細は、「5．動作説明」をお読み下さい。）

動作の切り替えは、8連ディップスイッチの7番で行います。

7番をOFFで「2スイッチ信号受信タイプ」、ONで「3スイッチ信号受信タイプ」に設定されます。

注意）　変更時には、安全の為に電源を切ってから実施して下さい。
　　（変更を有効にするには、電源を再投入する必要があります。）

１－１０. 設置方法

１－１０－１. 設置時の注意事項

次の事に注意して設置してください。

① アンテナはできるだけ垂直に立て、金属板や電線と平行にならないようにして下さい。

② アンテナは、できるだけ金属版や電線から遠ざけて下さい。

③ ノイズ発生源からできるだけ離して下さい。

④ 送信機のアンテナと受信機のアンテナ間に、なるべく遮蔽物がない場所を選んで
設置して下さい。

⑤ 通信性能は、設置環境に依存します。
通信が可能な事を確認の上、設置して下さい。

⑥ 送信機及び受信機は、防塵／防滴構造ではありません。
設置環境に応じて防塵／防滴処理をして下さい。

⑦ 配線の接続及びスイッチ類の設定は、安全の為に電源を切ってから行って下さい。

次のような場所に設置しないで下さい。

① 直射日光があたる所

② 湿度が非常に高い所

③ テレビやラジオの近く

④ モーターなど火花を飛ばすものの近く

⑤ 強い磁界を発生している所

⑥ 鉄骨や金属壁で囲まれた狭い所

⑦ 本装置からの電波により、誤動作をする可能性のある装置の近く

１－１０－２. 送信機

① 各入力端子（CLR、STOP、CALL）にリレーやマイクロスイッチ等の無電圧接点を接続します。
（キーボタンだけを使用する場合には必要ありません。）

② 付属のACアダプタを接続します。（電池でご使用の場合には接続しないで下さい。）

③ キーボタンを押すか無電圧接点をONするとTXランプが点灯し送信を開始します。

詳細については、「特定小電力タイプ　１mW送信機　HERCOM　AN426TⅡ」の取扱説明書をお読み下さい。

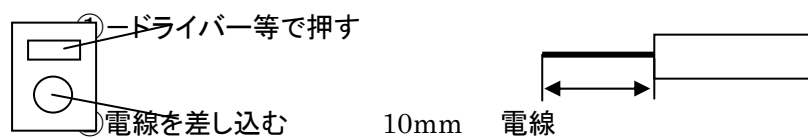
１－１０－３. 受信機

① 付属のホイップアンテナをBNCコネクタに取りつけます。

② 各リレー出力端子OUT1～３に被制御装置を接続します。
各出力の定格負荷は、AC１２５V　０．５A、DC２４V　１Aです。

③ 電源入力端子に電源ラインを接続します。電源電圧は、DC6V～12Vです。

④ POWERスイッチをONするとPWランプが点灯し動作を開始します。

端子への接続方法は下記の手順にて行ってください。

①の部分をードライバー等で押したまま②の部分に装置の電線を10mm程度差し込んで下さい。
差し込みが終わったら①の部分からードライバーを離してください。

使用可能電線

単線：φ0.4～φ1.0（AWG26～18）
燃線：0.3mm～0.75mm（AWG22～20）
素線径　φ0.18 以上

参考）　お取り付けの際には、「付録　受信機の寸法図」もご覧下さい。

第2章. 動作説明

2－1. 送信機

送信機は、押されたキーボタンに応じてスイッチ信号を送信します。キーボタンが押されている間は、送信と約2秒の休止を繰り返します。入力端子台への入力でもキー押下と同様に動作します。
尚、端子入力による送信動作には、上記の様にキー押下と同じ送信動作（通常送信）と端子台への入力信号が変化した時だけ送信する（特殊送信）の2種類があります。

詳細については、「特定小電力タイプ　1mW送信機　HERCOM　AN426TⅡ」の
取扱説明書をお読み下さい。

2－2. 受信機

受信機の動作には、「2スイッチ信号受信タイプ」と「3スイッチ信号受信タイプ」の2種類の動作タイプがあります。次にタイプ別に動作を説明します。

2－2－1. 2スイッチ信号受信タイプ

送信機からのSTOP、CLRの２点のスイッチ信号を受信し対応するリレー出力OUT１～3を制御します。送信機のキー操作と受信機のリレー出力の関係を示します。

キー操作		リレー出力内容		
		OUT1	OUT2	OUT3
STOP	押す	ON	OFF	ON
	離す	OFF	OFF	ON
CLR	押す	OFF	ON	OFF
	離す	OFF	OFF	OFF

① 受信機は、スイッチ信号を受信すると、上表の「押す」欄に基づきリレー出力をします。
② 受信機は、約2．5秒（ラッチ時間）以上受信できなかった場合、上表の「離す」欄に基づきリレー出力をします。
但し、例えばSTOPキーが離されてからラッチ時間経過前にCLRキーが押されれば、STOPキーが離された時の出力はせずに直ちにCLR受信時の出力（OUT1、2をOFFし、OUT2のみをON）します。

注意） 2キー又は、3キー同時押下の信号及びCALLキーの信号は、
受信しません。

２－２－２．３スイッチ信号受信タイプ

送信機からのSTOP、CLR、CALLの３点のスイッチ信号を受信し対応するリレー出力OUT1～3を制御します。送信機のキー押下と受信機のリレー出力の関係を示します。

キー押下	リレー出力内容			備考
	OUT1	OUT2	OUT3	
STOP	ON	OFF	OFF	
CLR	OFF	ON	OFF	
CALL	OFF	OFF	ON	
CLR＋STOP	ON	ON	OFF	
STOP＋CALL	ON	OFF	ON	
CLR＋CALL	OFF	ON	ON	
CLR＋STOP＋CALL	ON	ON	ON	＊1　同時押しは不可

① 受信機は、スイッチ信号を受信すると上表に基づきリレー出力をします。

② 受信機は、約2．5秒（ラッチ時間）以上受信できなかった場合、
全リレー出力をOFFします。

＊1　CLR、STOP、CALLキーの同時押しは出来ません。送信機側にて送信機設定モードに入るからです。順番に押していけば上記のようになります。

第3章．取扱上の注意

３－１．故障と思う前に

送信機の取扱説明書「特定小電力タイプ　１mW送信機　HERCOM　AN426TⅡ」もお読み下さい。受信機が正常動作しない場合の原因と対策方法を説明します。

原因１：　正しく設置されていますか？
対策　：　「４．設置方法」をお読みになって注意事項を守って正しく設置して下さい。

原因２：　混信している可能性があります。
　　　　他の場所で本装置と同一の通信周波数を使用している機器がありませんか？
　　　　混信している場合は、通信不良や誤動作の原因になります。
対策　：　本装置と他の機器で異なる通信周波数を使用して下さい。

原因３：　送信機と受信機の通信周波数が異なっていませんか？
　　　　通信周波数が異なると通信できません。
対策　：　送信機と受信機の通信チャネルを同一にして下さい。

原因４：　送信機と受信機の識別番号（ユニット及び機器番号）が異なっていませんか？
　　　　識別番号が異なると通信できません。
対策　：　送信機と受信機の識別番号を同じにして下さい。

原因５：　電波の到達範囲外で使用していませんか？
対策　：　使用される環境により通信性能は変化します。
　　　　使用される環境で電波の到達範囲を確認の上、本装置を設置して下さい。

３－２．おかしいな？と思ったら

正常な状態でご使用中に、万一機器の異常が確認されたときには、

製品名・製造番号・使用環境 接続している外部機器 異常発生までの処理手順 具体的な発生内容など

を、お買い上げの販売代理店、または弊社営業部までお問い合わせ下さい。

ご使用になられる方がユニットを分解・改造して使用することは、法律で禁止されており、罰せられることがあります。

３－３．保証

保証規定（日本国内においてのみ有効）

本規定はお買い上げになられた製品を安心してご利用いただけるよう出荷後の保証について弊社が定めたものです。弊社製品が故障した場合は、この規定に基づき修理・交換いたします。

■保証範囲

お客様の正常なご使用状態のもとで万一故障した場合、規定に従い故障箇所の無償修理をさせていただきますので、お買い上げの販売店、または弊社営業部にお申し出下さい。ただし、本製品のハードウェアに限らせていただきます。

なお保証期間内においても次の場合には有償修理となります。

１．お客様による輸送・移動時の落下、衝撃等、お客様のお取扱いが適正でないために生じた故障・損傷の場合。

２．お客様による本体の分解や改造による故障の場合。

３．火災・地震・水害等の天災地変および異常電圧による故障・損傷の場合。

４．本製品に接続している当社指定機器以外の機器の故障に起因する故障の場合。

５．本体以外の付属品(AC アダプター,アンテナ,接続ケーブル等)は含みません。

６．弊社以外で修理・調整・改良した場合。

７．消耗品や寿命品（バッテリー含む）の交換の場合。

消耗品・寿命品には下記のものが含まれます。

①各種スイッチ類（リミットスイッチ，押しボタンスイッチ等）

②電池・バッテリー（乾電池、ボタン電池等）

③その他使用により消耗・寿命があるもの

８．本取扱説明書に記載された使用方法及び注意事項に反するお取扱いによって生じた故障の場合。

■保証期間

保証期間は原則としてお買い上げいただいてから１年間となります。

保証期間内は、保証規定の定めにより弊社にて無償修理致します。

保証期間中の修理やアフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または弊社営業部までご相談下さい。

■初期不良について

製品お買い上げ日より起算し2週間以内を製品初期不良期間とします。期間内にお買い上げの販売店、または弊社営業部にご送付いただき、製品確認後、初期不良とみなされた場合は新品交換または修理対応を無償にて行います。

初期不良の場合、送料は弊社にて負担させていただきます。但し、日本国内の送料に限らせていただきます。

■免責事項

本製品の故障や障害、その使用によって生じた直接的・間接的な損害、金銭的損失については一切の責任を負いかねます。

■修理対応期間

本製品の修理はお買い上げいただいた日より8年間とします。

但し、使用部品の廃止等やむを得ない理由により代替部品の使用又は代替機により対応させてい

ただくことがあります。

■その他

●保証期間に関係なく、修理は調整等測定機器類の必要上、弊社への持ち込み修理を原則とし、持ち込み時に発生する送料等はお客様の負担とさせていただきます。

なお、出張修理を行う場合、または保証期間中に代替機が必要な場合等はお買い上げの販売店または弊社営業部までご相談下さい。

修理受付後、弊社技術部門において障害の再現できない場合は、交換・修理を致しかねる場合があります。また、障害の再現をするための技術調査費用を別途請求する場合があります。

●保証期間後の修理につきましてはお買い上げの販売店、または弊社営業部までご相談下さい。

修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理させていただきます。

本書の内容については予告なく変更することがあります。
本書の記載内容につきましては万全を期しておりますが、万一ご不審な点がありましたら、お買い上げの販売店、または弊社営業部までご連絡下さい。
製品の仕様及び外観は機器改良その他により予告なく変更する場合があります。